

## 第22回夏季デフリンピック競技大会ソフィア2013 派遣報告書(卓球)

### <派遣概要>

【大会名称】 第22回夏季デフリンピック競技大会ソフィア2013  
【開催期間】 2013年7月26日(金)～8月4日(日)【10日間】  
【開会式】 7月26日18時～ アレーナアルメツホール  
(Arena Armeets)  
【閉会式】 8月4日18時～ ヴァシル・レフスキ国立競技場  
(Vasil Levski Stadium)  
【試合日程(卓球)】 7月28日(日)～8月3日(土)  
【渡航日程(卓球)】 7月22日(月)成田国際空港発  
8月6日(火)成田国際空港着  
【開催国・都市】 ブルガリア・ソフィア  
【運営主体】 国際ろうスポーツ委員会  
(International Committee of Sports for the Deaf)  
ソフィア2013デフリンピック大会組織委員会  
(the 22nd Summer Deaflympics Organizing Committee)

### 【競技種目】(1つの国からの参加数)

団体戦: 男子団体(1チーム)、女子団体戦(1チーム)  
個人戦: 男子シングルス(4人)、女子シングルス(4人)、  
男子ダブルス(2組)、女子ダブルス(2組)、混合ダブルス(4組)

### 【エントリー数(卓球)】

卓球競技全体: 29ヵ国 135人  
男子団体戦: 18ヵ国、女子団体戦: 11ヵ国  
男子シングルス戦: 84人、女子シングルス戦: 51人  
男子ダブルス戦: 36組、女子ダブルス戦: 21組  
混合ダブルス戦: 45組  
ブルガリア、オーストリア、ドイツ、イエメン、インド、イ  
ラン、イタリア、カザフスタン、中華人民共和国、リビア、  
リトアニア、モンゴル、ネパール、ナイジェリア、ポーランド、  
ロシア、南アフリカ、スロバキア、チャイニーズタイペ  
イ、トルコ、ウズベキスタン、ウクライナ、ハンガリー、フ  
イジー、中国香港、クロアチア、スウェーデン、大韓民国、  
日本

### 【日本代表】(計11名派遣)

<スタッフ> (4名)  
監督: 佐藤 真二【協和発酵キリン(株)卓球部総監督】  
(東京都)  
コーチ: 内山 敏彦【日立化成工業(株)卓球部監督】  
(茨城県)  
コーチ: 須藤 聡美(埼玉県)  
手話通訳: 井出 敬子【手話通訳士】(神奈川県)

### <女子選手> (4名)

上田 萌【日立化成工業(株)】((社)茨城県聴覚障害者協会)  
佐藤 理穂【東京富士大学】((社)東京都聴覚障害者連盟)  
有馬 千寿子(女子主将) (神奈川県聴覚障害者連盟)  
川崎 瑞恵【秋草学園高等学校】((社)東京都聴覚障害者連盟)

### <男子選手> (3名)

望月 翔太【横浜市立ろう特別支援学校教諭】  
(神奈川県聴覚障害者連盟)  
有馬 歓生【(株)東芝】(男子主将)  
(神奈川県聴覚障害者連盟)  
亀澤 史憲【東北福祉大学】((社)山梨県聴覚障害者協会)

### 【出場種目】

男子団体 望月、有馬、亀澤  
女子団体 上田、佐藤、有馬、川崎  
男子シングルス 望月、有馬、亀澤  
女子シングルス 上田、佐藤、有馬、川崎  
男子ダブルス 望月・亀澤組  
女子ダブルス 上田・佐藤組、有馬・川崎組  
混合ダブルス 有馬・上田組、亀澤・佐藤組、望月・川崎組

### 【スケジュール】

(時間は現地時間: 日本時間より6時間遅れ)

7月24日(水) 日本発、ソフィア着  
7月25日(木) 練習  
7月26日(金) 開会式  
7月27日(土) 9:00-19:00 男女団体戦  
7月28日(日) 9:00-19:00 男女団体戦  
7月29日(月) 9:00-18:00 男女団体戦 18:00-19:00 表彰式  
7月30日(火) 9:00-19:00 混合ダブルス戦 19:00-20:00 表彰式  
7月31日(水) 9:00-19:00 男女ダブルス戦 18:00-19:00 表彰式  
8月1日(木) 9:00-19:00 男女シングルス戦  
8月2日(金) 9:00-19:00 男女シングルス戦  
19:00-20:00 表彰式  
8月3日(土)  
8月4日(日) 閉会式  
8月5日(月) ソフィア発  
8月6日(火) 日本着

### 【大会結果】(詳細は別紙の大会結果を参照)

男子団体: 優勝 チャイニーズタイペイ、  
2位 中華人民共和国、3位 リトアニア  
女子団体: 優勝 中華人民共和国、2位 ウクライナ、3位 日本

### <参加者からの報告>

#### ■佐藤 真二(監督)

#### ①選手選考

ろうあ連盟が発表した選考基準をもとに選手を選考  
・2012年世界選手権ベスト8以上(後日ベスト4)  
・2012年アジア大会ベスト4以上(後日ベスト2)  
・メダルを確実に獲れる選手を選ぶ

この結果、条件をクリアした女子選手上田・佐藤・有馬・  
川崎をエントリー。男子は条件をクリアした望月をエント  
リー。その後団体とダブルスを考え、ろうあ連盟と協議をし  
た結果有馬・亀澤をエントリー。

#### ②成績

男子 団体 9位  
シングルス 亀澤ベスト32  
ダブルス 望月・亀澤ベスト16  
女子 団体 3位  
シングルス 上田優勝 佐藤・有馬・川崎ベスト16  
ダブルス 上田・佐藤準優勝  
混合ダブルス 亀澤・佐藤ベスト8 有馬・上田ベスト8

#### ③成績と評価

男子) 完敗、本当に参加させるべきだったのかと考える、選  
考の段階で私情は入らなかつたか? 過去は過去とし  
て現状分析が正しかつたのかと反省をしている。

女子) 今の女子の置かれている環境からするとアクシデント  
はあつた各人が力を発揮したと評価できる。特に上田  
は、相当なプレッシャーのなかでの優勝はろうあ卓球  
界だけでなくろうあスポーツ界に希望と自信を与え  
たと思う。

#### ④チーム体制と各コーチの役割

今回は、チームとして金メダルを1個獲ることが目標でした。  
そのために一番可能性のある上田に専属として母体コーチの  
内山さんを指名してやるのが出来たことは良かった。

また、今回は男女の区別をしないで監督1名、コーチ2名と  
して情報を共有できたことで役割が明確になり各人が行動し  
やすかつた。

#### ⑤競技スケジュール

7月27日～29日 男女団体戦  
7月30日 混合ダブルス戦

7月31日 男女ダブルス戦  
8月1日～2日 男女シングルス戦

#### ⑥大会の競技運営などの報告

- (1) TD ミーティング
- ・言葉と手話の統一性がなく日本を始め各国困った。
  - ・ビジョンボックスがなく、情報が入り乱れた。
- (2) ラケットコントロール・ドーピング
- ・実施されなかった。

#### ⑦競技規則の適用

厳格な国際ルールに基づいて運営されていない。  
(タイムアウトの時間、ハプニング時の対応、クレームの対応)

#### ⑧大会参加までの準備

##### 対選手

- ・代表が決まり3ヶ月に2回のペースでの代表合宿
- ・健常者の試合に参加(東京選手権大会:全日本選手権大会に次ぐ大会)
- ・合宿先を各地のろう学校で実施することで選手のモチベーションを向上
- ・社会人との練習(アドバイス)

##### 対マスコミ

- ・上田を追いかけている関西テレビの活用
- ・壮行会の開催
- ・卓球専門誌および雑誌へのアプローチ
- ・大会期間中のメディアの同行(関西テレビ・日立広報部)

##### 対資金

- ・日本卓球協会からの補助金200万
- ・カンパ
- ・卓球メーカー・ジュイックが応援クリアファイルを作成、一部を協会へ寄附

##### 対その他

- ・練習場の確保(協和発酵キリン練習場、ろう学校体育館)

#### ⑨反省とまとめ等

昨年の世界ろうあ大会で最高の成績を収めたことにより特に女子は各国から厳しいマークを受け追われる立場での大会でした。その中で上田は、4年前忘れてきた金メダルを取りにいき見事獲得したことは賞賛できます。上田だけの力ではなくそれをサポートしてくれた方々が獲った金メダルだと思います。男子については、厳しい戦いが予想されてはいましたがそれ以上の現実を目の当たりにしました。本当に男子の参加は正しかったのかを冷静に分析すると今回は参加しないか2名だけの参加で良かったと反省しています。(他の国は2名での参加する国もあり)このことについては協会内でも冷静に受け止めて責任の追及も必要と思います。私は、5年間指導をさせていただきいろいろな勉強が出来ました。今後の自分の人生に生かせる内容ばかりです。

呼吸している人間は健常者も障害者も皆同じだと思います。これからは上田、佐藤のように高校・大学で強くなる環境を与えることが大切だと感じています。男女ともにこれからは低迷期に入りますが、そこから早く強い選手を育てて世界で勝つように祈っています。

私は、これであろうあ卓球の指導の現場からは離れますが、皆で力を合わせて強い日本を作り上げてくれることを希望します。

長い間お世話になりました。

#### ■内山 敏彦(コーチ)

##### ①団体内の担当とその内容

今回、私は卓球競技の女子コーチとしてブルガリア共和国で開催された夏季デフリンピックに参加しました。

各選手が最高のコンディションで、持てる力を最大限に発揮して戦えるよう調整することと、ゲームの流れを分析、適切なアドバイスからひとつでも多くゲームに勝ち、選手とともに上位を目指すことが私の担当でした。

慣れない外国での生活からくる食欲減退、体調のリズムの狂い、アクシデント等も予想されることから、最高のコンディションを作る上で、監督、コーチ、手話通訳、本部のメディカルスタッフ

の方々が一体となった活動が戦えるための良いコンディションを確保できと思っています。

選手の技術面における調整も日本での活動と同様に練習時間の確保、過去の映像記録から対戦相手を想定した練習など、良い練習が出来たと思っています。

特に女子シングルの金メダル候補の一人である上田 萌選手に必ず当たるであろう中国、ロシア、ウクライナの有力選手の長所・短所を知ってもらう目的で試合内容を撮影したビデオカメラの映像を繰り返し見せていたことも、金メダル獲得に貢献したと思っています。

##### ②反省・まとめなど

###### (1)反省

1. 選手強化のための合宿は何回か実施しましたが、デフリンピック出場する選手同士が集まった練習であるため、真に選手のレベルアップには繋がらずに実りある合宿とはならないのでは?と思いました。

2. 自分の反省ではありますが、定期的に選手の活動拠点を訪問し、日々の練習を把握していなかったために(上田)を除いては適切な技術指導が不足していたために全体のレベルアップに貢献出来なかった。

###### (2)まとめ

女子は(上田)(佐藤)(有馬)が出場した団体戦が3位、(上田)(佐藤)組のダブルスが2位、上田選手が女子シングルスで金メダルと、最高の形で2013デフリンピックを終了することが出来ました。

上田選手は素質のある素晴らしい選手ですが、企業に入社し、企業の卓球チームで一般の選手と日々練習を積み重ねているところから強化をすることが出来ましたが、他の選手の強化は何回かの合宿を行なったものの、日頃から一般に混じっての練習ができずに選手のレベルアップが叶いませんでした。

今後現状の成績を継続するには、

1. 一般選手がいる企業に就職させ、日々一般の選手と練習させる。

2. 遠征・合宿費用は多く掛かりますが、定期的に一般チームへの遠征を計画し、切磋琢磨させる。  
等の対策が必要かと思われます。

本部スタッフ、競技スタッフのみなさん、お世話になりました。ありがとうございました。

#### ■須藤聡美(コーチ)

##### ①団体内の担当とその内容

コーチとして参加しました。大会前の強化合宿では、時間の管理や監督が不在時の練習計画の作成などを担当しました。

本大会では、ベンチコーチ、練習トレーナー、本部への連絡などや、氷の手配等を行いました。

##### ②反省・まとめなど

日本チームで一つの金メダルを!を目標に掲げ、上田が女子シングルスで金メダルを獲得することができました。

世界ろうあ卓球選手権大会で3冠を獲得し、各国からマークされた中でこの試合でしたが、プレッシャーを跳ね除けメダルを掴み取ることができて、とても嬉しく思います。

女子団体では銅メダル、女子ダブルスでは銀メダルを獲得しました。日を重ねるごとに男女キャプテンを中心とし、纏まりが増していき、全ての流れが最終日の女子シングルの金メダルに繋がっていったと感じます。

冷房がない会場でしたので、選手が体調を崩さないよう補食や水分を切らさないようにスタッフと共に準備しました。

デフリンピック前の強化合宿で「どろくさく、がむしゃらに」というスローガンを選手達で決めました。

日の丸を背負う重責を、一本一本に込めて諦めない気迫で臨めた試合もあるし、雰囲気にもまれた試合もありました。ベンチコーチとして共に戦う中で、その状況を打破させることができない自分の力の無さを不甲斐なく思う場面もありました。

今大会はTD会議の時間や競技スケジュールも頻繁に変更がありました。審判長への交渉は本部の方や周りの協力で何とか乗り切れましたが、今後を考えると英語や国際手話をできるスタッフがいることも大切だと思います。

また、男子はメダル0に終わりました。また、男女とも世界のレベルは大変高いです。今の実力は真摯に受けとめ、今後活かしていかなくてはなりません。上位者は簡単なミスは少ないし、あまいボールを見逃してくれません。より高い安定性、攻撃力、サーブ力等鍛え直さないともっと差がつく恐れがあります。

各国は若手も多く出場していました。日本も4年後、8年後を見据えた強化が急務であり、スタッフ全員も同じ方向をむかないと世界で戦いメダルを狙うにはとても厳しいと感じています。

前大会では金メダル0で終わりましたが、今回は女子シングルスで金メダルを獲得でき、センターボールに上がる日の丸と君が代に、とても感動しスタッフとして携われたことに感謝しています。

しかし、既に次の大会へ向けスタートは切っています。男女共に強化が必要です。メディアも活用し、もっとデフリンピックを周りの方々に知っていただく努力も継続していかなくてはなりません。

本大会では、本部の方やたくさんの方からご協力のご声援をいただきました。また、日本でも大会へ向けた期間から多くの方のご協力をいただいた結果、メダルが獲得できました。心から御礼申し上げます。

前回大会から4年間、強化合宿や会議等を重ねてきましたが、あっと言う間に過ぎ去った時間でした。

至らない点を、周りの方がサポートしてくださいました。貴重な経験をさせていただいたことに大変感謝しております。

今後はこの経験を少しでも活かせるようにもっと勉強を重ねていきたいと思っております。

## ■井出 敬子（総務・通訳）

### ①団体内の担当とその内容

#### 【出発前の準備】

- 事務連絡（窓口）  
ツアー会社、全日本ろうあ連盟、上部団体
- メディア対応
- 卓球チームの荷物の準備、発送

#### 【派遣期間中の手話通訳及び事務局】

- 手話通訳
  - ・チーム内（練習、試合、ミーティング）
  - ・医師・トレーナー
  - ・メディア取材
- 本部（全日本ろうあ連盟）への連絡
  - ・試合結果報告
  - ・タクシー手配
  - ・その他
- 日本ろうあ卓球協会事務局（東京）への連絡
  - ・試合速報
  - ・データ送付
- 写真撮影、データ管理
- メディア対応
  - ・現地取材
  - ・データ送付
- TD 会議参加
- 買い出し
- 会計
- 応援者対応
- その他

#### 【大会終了後の事務処理】

- 事務連絡
- メディア対応
- 挨拶、報告

### ②反省・まとめなど

職務は「手話通訳」となっていますが、スタッフ体制が当初計画の8人から4人に減っているため、総務の仕事も兼ねることになりました。私としては「手話通訳かスタッフか」と立場を明確化することに思い煩うことがなかったため、逆に動きやすかったともいえます。その中で気づいたことを記します

○「遅刻は10分まで。来なかったら不戦敗」、国際卓球ルールというロジックで審判長に話をしましたが、反感を持たれるということが1度ならずありました。また、「アドバイスをした」と手話通訳者にレッドカードが出されました。組織委員会あるいはTDは、競技審判に対してなんらかの啓発、教育があつて然るべきだと思います。デフリンピックの信用に関わるのではないのでしょうか。

○ビジョンボックスがなく、組み合わせ、会議等の情報はすべて掲示という方法がとられました。その確認作業に手間取り、急ぎ発信した情報間違いを東京事務局が訂正してくれたり（現地のHPのアップの方が早い）アドバイスを受けてたりという後方支援がなければ、広報の仕事はできませんでした。

○NHK、関西テレビ、日本テレビ、舞鶴新聞、卓球王国、卓球レポート、ニッタクニュース等、大会前から多くのメディアに取り上げていただきました。しかし、その対応は十分とは言えず、特に現地において「表彰式の写真をすぐ送ってほしい」といった急ぎのものは、間に合わすことができませんでした。また、写真が届かなかったこともあったようです。せっかくの機会なのに惜しいことをしたと思います。

○インターネット環境が十分ではないと事前には知っていましたが、あまり問題とは思っていませんでした。しかし、例えばWi-Fiルーターがあれば、日本で応援して下さっている多くの方々にも一刻も早い情報発信ができたはずですし、余裕を持ってPC作業をすることができたのではないかと考えます。

○怪我をした選手に、本部トレーナーの高橋さんが2日間ありがとうございました。それが、どんなにありがたく心強かったことか。聞いたところ、今回は日本選手団12競技中4競技8団体がトレーナーを帯同されていたということです。選手の身体に触れる、テーピングができるトレーナーの存在は必須だと感じました。

これらの振り返りを次の体制に活かしていきたいと思っております。しかし、強化については個人の努力には限界があります。意識、教育、そして環境作りにお金をかけられるよう整備する（働きかける）ことが急務であります。

最後に、このような貴重な機会をいただいたことに深く感謝いたします。また、卓球日本代表選手、及び日本ろうあ卓球協会強化本部の活動に対し、多大なるご支援、ご協力してくださった方々に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

## ■有馬敏生（男子主将）

### ①成績に対する自己評価

団体戦において、予選リーグ戦は中国及び香港に敗退し、3位となったため、決勝トーナメントに進出できませんでした。特に香港との対戦結果は2-3のため、どちらが勝ってもおかしくない状態でした。自分が全て2点起用されたのですが、香港に対し1点を奪うことしかできず、中国に勝てなかったため、チームの勝利に貢献できなかったのが心残りです。しかしながら、9～12位決定戦の前夜に男子チームミーティングを数時間行い、チームワークをより固めたことから、9～12位決定戦は全て勝って、9位になることができました。それが非常に良かったと思います。混合ダブルスにおいて、上田選手と組み、結果的にベスト8になることができましたが、上田選手とは地域が違うため、連携プレー練習が不足してしまい、実際試合やってみたら連携プレーがうまくできませんでした。もっと練習すればメダル獲得できるのではと感じました。

シングルスにおいて、予選リーグ戦は5名中3位のため決勝トーナメントに進出できませんでした。その中でリトアニア選手、中国選手と対戦し負けましたが、彼らは今大会男子ダブルス優勝、準優勝の選手だったため、正直精神的に参ってしまったところがありました。しかし実際、中国の選手とは接戦し、ひよっとしたら勝てるのではという一歩を感じました。

### ②反省・まとめなど

主将任命されたことに非常に感謝しています。主将任命されたのに驚きましたが、男子の中で自分が年上のため、男子チームを引っ張る役目を持たなければなりません。実際は難しかったのですが、貴重な経験でした。また、団体戦負けた翌日から毎日男子チームミーティングを行ったのが一番良かったと思いました。何故なら、今大会全体を通じて日本の将来も含め話し合ったことを後輩たちへ受け継ぐことができるためです。将来、男子後輩たちにメダル取ってもらいたく、色々教えていきたいと思っております。

## ■望月翔太

### ①成績に対する自己評価

デフリンピックの成績

男子団体戦→9位

男子ダブルス→ベスト16

混合ダブルス→予選リーグ敗退

男子シングルス→予選リーグ敗退

自分としては悔しさの残る結果でした。その結果を受け止めて、次に向けて頑張りたい。

### ②反省・まとめなど

結果については、これまで今回が最も酷い成績なので、大変悔しさのある大会だったと感じている。今まで支えてくださった先輩方やスタッフ達に申し訳ない気持ちでいっぱいである。

負けは負けなので、その結果をしっかりと受け止め、それを忘れずに次につなげていきたい。

課題においても、すべてのプレーにおいて未熟なので、1つひとつの課題をしっかりと改善していきたい。

今後の方向性については、やはり何らかの改革が必要だと思う。漠然としているが、何かを変えないとこのままでは厳しいと思う。私としても、まだまだ26歳。まだ学ぶこと、身に付けなきゃいけないことはたくさんあるので、次に向けてしっかりと練習、トレーニングを続けていきたい。

また、現在ろう学校で教員としてこどもたちの卓球部の顧問を担当しているので、こどもたちにも夢や目標に向けて頑張ること、努力を続けることを伝えていきたい。そして、そのこどもたちがいつか世界で活躍することができたら、すごく嬉しいと思う。

そういう意味では、卓球というスポーツと向き合うことで、周りに感謝する気持ちを忘れずに、まだまだ未熟な自分をもっと成長させ、こどもたちにもいろんなことを教えていきたいと感じている。

最後に、今大会において沢山のご支援、ご協力を頂いて、ありがとうございました。

皆さんの支えに大変感謝します。

## ■亀澤史憲

### ①成績に対する自己評価

自分の成績に対しては実力相応の結果だと感じています。ただ目標であるメダルに届かなかったのは悔しい結果となったと思います。求められているのはメダルであり、選手一人一人が実力を発揮することは最低限のことであると思われまふ。よって自分は日本代表として残念な結果を残してしまったのではないかと考えまふ。もっと上を目指し、結果を残すことが国の代表としての務めだと思いまふので今後は更なる向上を目指していくべきであると考えまふ。個人的には芳しくなかつたものの、日本チームとしての「金1つ」という目標は達成することができたので、大変うれしく思いまふ。

### ②反省・まとめなど

今回のデフリンピック出場は自分にとって国際大会初の大会であり、出場することにより、つかめるものは大きかつたです。日本を背負って戦うことの大切さ、日本代表チームとして長期間、選手、スタッフと共に過ごしていく中で感謝の気持ち、今が当たり前でないことを感じました。それらを含めた経験を糧に今後のアジア大会や世界大会そして次回デフリンピックに向け、精進していかなければならぬと感じました。国内大会で競い合っている場合ではないと思いまふ。もっと世界を見据えた練習や生活を心がけていかなければ、とうていメダルを取ることは困難だと感じました。そういったことを自分だけでなく、同年代の人たちや、下の年代の人たちに伝えていくことが、デフリンピックを経験した私の役割だと自覚しているつもりです。さらに男子チームの中心となって今後は引っ張っていくべきだと感じているので、今回を通じて多くのことを学ぶことができたのは良かったと思いまふ。そのため準備というのは今からでもスタッフのみならず、選手も整えていき、日本チームを強化させていく必要があるのではないかと、今後の日本ろう者卓球界の発展の重要性を感じることができた大会でもありました。

## ■有馬千寿子（女子主将）

### ①成績に対する自己評価

団体では目標にしていた優勝を逃がしてしまい、3位という結

果になりました。ウクライナ戦の相手は自分の苦手なタイプでもあり、レシーブの凡ミスが目立ってしまい負けてしまいました。ウクライナ戦以外は全て勝つて良かったと思いまふ。

女子ダブルスは予選リーグ戦で6組中3位になり、決勝トーナメント進出出来ませんでした。ウクライナ戦と韓国戦ではコースが甘かったり、ボールが浮いてしまい強打で打たれたり、パートナーに足を引っ張ってしまい申し訳ないと思いまふ。シングルスは予選リーグ戦で6人中2位、決勝トーナメント1回戦で前々回大会の世界チャンピオンの中国選手と対戦し、ストレートで負けてしまいました。ベスト16に終わったものの、前々回の大会では予選落ちという結果だったので、今大会は決勝トーナメント進出することに目標にしていたので進出出来たのが何より良かったと思いまふ。

### ②反省・まとめなど

デフリンピックには2回目の出場で、今回は女子主将という役割を任せられ、最後まで気が抜けませんでしたが。女子は前年東京で行われた世界ろうあ者卓球選手権で日本が優勝し、世界中が日本に立ち向かうという姿勢が見られ、私達日本も負けられないという気持ちで世界に挑みました。団体では皆で目標にしていた金メダルは取れませんでした。私の中では最高なチームワークだったと思いまふ。これまではアジアの選手が目立っていましたが、今大会を見てみると、ヨーロッパの選手も力をつけてきており、アジアの選手だけではなく、ヨーロッパの選手にも目を向けて、注意しなければならぬと感じました。

## ■上田萌

### ①成績に対する自己評価

団体戦は惜しくも三位だったが、全員自分の力は全てだしきれたと思いまふ。

ダブルスとミックスダブルスにおいてはもっと練習量、パートナーとのコミュニケーションが必要だと感じました。シングルスにおいては金メダルという目標を達成する事ができたのでよかつたです。

### ②反省・まとめなど

団体戦においては惜しくもウクライナに敗れてしまいましたが、三位決定戦では全員が丸一となって戦い、なんとか銅メダルを獲得する事ができてよかつたです。

女子ダブルスにおいては決勝でパートナーの佐藤が足を怪我するというアクシデントがありましたが、それでも最後まで諦めないうでプレーしました。金メダルを獲得することは出来ませんでした。私と佐藤の絆は他の誰よりも強いということを証明する事ができたゲームだったと思いまふ。

シングルスにおいては四年前のデフリンピックであと一本の差で負けて悔しい思いをしました。

その後の四年間、最後の一本の重みを大学でたたきこまれ、卒業後日立化成に入ってからチームメイトや色々な人に練習相手をしてもらったり、教えてもらったりしました。

生活面においてもトレーニングや食事制限をしたりして忍耐力を身につけ、万全な状態で臨みました。それが今回の金メダルという結果につながったと思いまふ。

何より私が三つのメダルを獲得することが出来たのは支えてくださった家族、監督、スタッフ、仲間たち、会社のバックアップがあったからです。本当にありがとうございました。

## ■佐藤理穂

### ①成績に対する自己評価

私にとって2回目のデフリンピックでした。2013世界大会で金メダルを獲得し、今回は日本の私達が追い詰められる立場でしたが、それでも私達は“挑戦”の気持ちで戦いました。その結果、団体銅メダル・MXベスト8・W銀メダル・Sベスト16でした。まず団体戦では、準決勝で私が2点も落としてしまったが、3位決定戦では笑顔で銅メダルを獲得することができました。MXは4年前に負けた中国ペアと当たり、今回こそ思ったが、パートナーと共に焦ってしまい、もう少し落ちていたプレーをすればよかつたです。でも1本1本力を合わせられたのでよかつたと思いまふ。Wは忘れられない試合だったと思いまふ。決勝で捻挫し10分タイムの時に『もうダメだ』と諦めた自分がいました。でも上田さんと小さい頃から夢だった金メダル獲得する事という事をすぐ頭に浮かび、最後までやり遂げました。試合終了した後は本当に涙が止まらないぐらい悔しかつたけど上田さんとの絆

は誰よりも負けないほど強いと言う事をアピールすることはできたと思います。Sは怪我の為、棄権をするつもりでしたが、そのままでは後悔する、動けなくてもいいからウエンスから入ったコートに もう一度立ちたいと思い、試合に出ました。結局 Best16 で終わりましたが悔いはありません。

## ②反省・まとめなど

今回は4年前と違って、レベルも上がっていて驚きました。今のままでは日本も危ないと感じました。私は4月から社会人になり、練習量も少なくなり、できることはやったが、それでもまだ通用できないと思いました。

これから私はどうなるかわかりませんが、若い人達に経験を教えたり、自分にできることをやっていきたいと思います。

ここまで家族、仲間、目に見えない周りの方の応援、そして現場で色々して下さいました本部の方やトレーナーの方、本当に心から感謝します。有難うございました。

## ■川崎瑞恵

### ①成績に対する自己評価

ブルガリアで開催されたデフリンピックに初めて出場しました。初めて参加して最初は凄く緊張してしまいましたが、みなさんの支えがあったからすぐにいつものようにプレーを試合に臨めたので本当によかったです。でも、シングルスはベスト8以上に行くことが目標でしたが、ベスト16になり残念という結果になりましたが、外国の選手と試合をし、色々経験になったのでこれからももっと磨き今後は成績がレベルアップするように頑張りたいです！

団体は3位になり、みなさんの頑張っている姿をみて私も全力でサポートが出来たかなと思っています。

女子はお互い支えあったからこそチームワークがよかったですと感じました。

ミックス、女子ダブルスは予選で負けてしまいましたが、お互いも話し合いながら戦えることが出来たのでいいパートナーだったと思います。

### ②反省・まとめなど

2週間くらいブルガリアにいて、最初は私にとって初めての海外なので、食べ物や環境になれていませんでした。食べ物は口に合わなくあまり食べてない日々が続く周りのみなさんに迷惑かけることばかりでした。

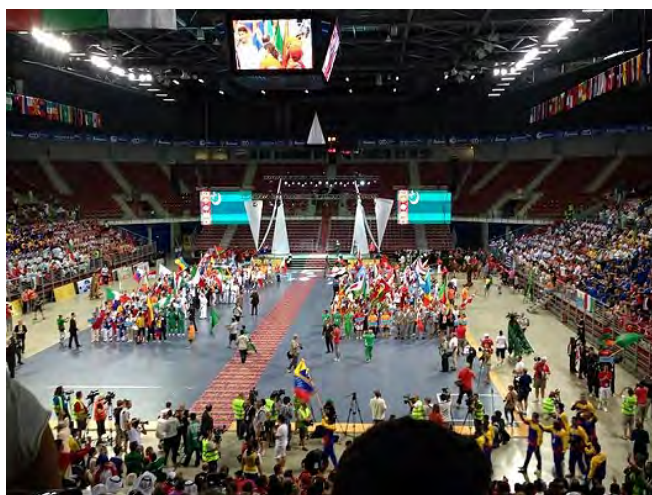
でも、食べないと試合で体力がなくなるとわかり自分の自己管理がしっかりできていなかったです。みなさんに支えてくれたお陰で少しずつ慣れて食べられるようになりました。色々経験してきたことを頭に入れて支えてもらった分、これから自分で自己管理ができるようにしっかりとします。

チームワークの支えや日本から応援や支えてくれた方々のお陰です。本当にありがとうございました。

## <大会風景> (写真13枚)



(2013年4月20日 日本代表壮行会)



(開会式の様子)



(女子団体3位決定戦 対ロシア戦)



(女子団体3位)



(女子団体 銅メダル 左から佐藤、上田、川崎、有馬)



(女子ダブルス 上田・佐藤組 対ウクライナ戦)



(女子シングルス決勝 上田 対ロシア戦)



(女子ダブルス決勝 上田・佐藤組 対中国戦)



(女子シングルス決勝 上田 優勝が決まった瞬間 (1))



(女子ダブルス 上田・佐藤組 銀メダル)



(女子シングルス決勝 上田 優勝が決まった瞬間 (2))



(混合ダブルス 望月・川崎組)



(女子シングルス 表彰式 上田 金メダル) (報告書完)

SOFIA 2013  
22-ND SUMMER  
DEAFLYMPICS  
26 JULY - 04 AUGUST 2013  
TABLE TENNIS  
RESULTS

REFEREE

TSVETOZAR HRISTOV

## 22-ND SUMMER DEAFLYMPICS, SOFIA, BULGARIA

### MEN DOUBLES KNOCK OUT SYSTEM

	15:20	16:40	18:00	19:20
A1 <u>WANG Cong/ZHANG Chaoyue</u> CHN				
G2 <u>PISHCHUK Dmitry/BEZDENEZHNYI Sergey</u> RUS	T1	WANG Cong/ZHANG Chaoyue CHN 4:0	WANG Cong/ZHANG Chaoyue CHN 4:1	JUCHNA Gintautas/TAKINAS Deividas LTU 4:2
C2 <u>KONKUBAYEV Kanat/ISKENDIROV Daniyar</u> KAZ	T2	MECHAU Mark/BAEHR Thomas GER 4:1	JUCHNA Gintautas/TAKINAS Deividas LTU 4:0	JUCHNA Gintautas/TAKINAS Deividas LTU 4:0
H1 <u>MECHAU Mark/BAEHR Thomas</u> GER				
E1 <u>WANG Yi-Hsiang/CHU Che-Wei</u> TPE	T3	WANG Yi-Hsiang/CHU Che-Wei TPE 4:3	WEN Chih-Hsuan/YANG Jung-Tsung TPE 4:1	LI Yunnan/XU Youyue CHN 4:3
B2 <u>NG Wai Yip/WU Ho Ting</u> HKG				
F2 <u>ZIZIUNAS Kestutis/NARKEVICIUS Viktoras</u> LTU	T4	JUCHNA Gintautas/TAKINAS Deividas LTU 4:0	LI Yunnan/XU Youyue CHN 4:1	WANG Cong/ZHANG Chaoyue CHN 4:0
D1 <u>JUCHNA Gintautas/TAKINAS Deividas</u> LTU				
C1 <u>ZAKLADNYI Gennadii/VELIIEV Anton</u> UKR	T5	ZAKLADNYI Gennadii/VELIIEV Anton UKR 4:0	WEN Chih-Hsuan/YANG Jung-Tsung TPE 4:1	WEN Chih-Hsuan/YANG Jung-Tsung TPE 4:0
D2 <u>PIETA Pawel/SZILIGA Adrian</u> POL				
A2 <u>MOCHIZUKI Shota/KAMEZAWA Fuminori</u> JPN	T6	WEN Chih-Hsuan/YANG Jung-Tsung TPE 4:0	LI Yunnan/XU Youyue CHN 4:1	WEN Chih-Hsuan/YANG Jung-Tsung TPE 4:0
F1 <u>WEN Chih-Hsuan/YANG Jung-Tsung</u> TPE				
G1 <u>BARON Jan Erik/SCHOELZEL Sebastian</u> GER	T7	BARON Jan Erik/SCHOELZEL Sebastian GER 4:1	LI Yunnan/XU Youyue CHN 4:1	WEN Chih-Hsuan/YANG Jung-Tsung TPE 4:0
H2 <u>CHULKOV Vitaly/ROGALSKIY Alexander</u> RUS				
E2 <u>LEE Changjoon/OH Eonseok</u> KOR	T8	LI Yunnan/XU Youyue CHN 4:3		
B1 <u>LI Yunnan/XU Youyue</u> CHN				

#### FINAL STANDING

- 1 JUCHNA Gintautas/TAKINAS Deividas LTU
- 2 LI Yunnan/XU Youyue CHN
- 3 WEN Chih-Hsuan/YANG Jung-Tsung TPE
- 4 WANG Cong/ZHANG Chaoyue CHN
- 5 - 8 MECHAU Mark/BAEHR Thomas GER  
WANG Yi-Hsiang/CHU Che-Wei TPE  
ZAKLADNYI Gennadii/VELIIEV Anton UKR  
BARON Jan Erik/SCHOELZEL Sebastian GER
- 9 - 16 PISHCHUK Dmitry/BEZDENEZHNYI Sergey RUS  
KONKUBAYEV Kanat/ISKENDIROV Daniyar KAZ  
NG Wai Yip/WU Ho Ting HKG  
ZIZIUNAS Kestutis/NARKEVICIUS Viktoras LTU  
PIETA Pawel/SZILIGA Adrian POL  
MOCHIZUKI Shota/KAMEZAWA Fuminori JPN  
CHULKOV Vitaly/ROGALSKIY Alexander RUS  
LEE Changjoon/OH Eonseok KOR



## 22-ND SUMMER DEAFLYMPICS

### MEN DOUBLE GROUPS

### RESULTS

GROUP A				1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	WANG Cong / ZHANG Chaoyue	CHN			3:0	3:0	3:0	3:0	8	1
2	CRESPI Luca / DAL FABBRO Oscar	ITA	0:3			0:3	3:0	3:0	6	3
3	MOCHIZUKI Shota / KAMEZAWA Fuminori	JPN	0:3	3:0			3:0	3:0	7	2
4	BATSUURI Tuvshinjargal / LKHAGVAJAV Dashdendev	MGL	0:3	0:3	0:3			3:0	5	4
5	KHADKA Nasib / MAHARJAN Anil	NEP	WO	WO	WO	WO			0	

GROUP B				1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	LI Yunnan / XU Youyue	CHN			2:3	3:0	3:0	3:0	7	1
2	NG Wai Yip / WU Ho Ting	HKG	3:2			2:3	3:0	3:0	7	2
3	KUZMENKO Grygorii / YAKOVENKO Anatolii	UKR	0:3	3:2			3:0	3:0	7	3
4	NAIK Ullas / SENGUPTA Suvro	IND	0:3	0:3	0:3			3:2	5	4
5	ADENIRAN Ismaila Saka / ODUPITAN Adetayo	NGR	0:3	0:3	0:3	2:3			4	5

GROUP C				1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	ZAKLADNYI Gennadii / VELIEV Anton	UKR			3:0	3:0	3:0	3:0	8	1
2	BEK Mladen / TOMIC Ilija	CRO	0:3			1:3	3:1	3:0	6	3
3	KONKUBAYEV Kanat / ISKENDIROV Daniyar	KAZ	0:3	3:1			3:0	3:0	7	2
4	ERDOGAN Saffet / ERDAL Dogan	TUR	0:3	1:3	0:3			3:0	5	4
5	ABUGHRIS Esam / AZZABI Salaheddine	LBA	0:3	0:3	0:3	0:3			4	5

GROUP D				1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	JUCHNA Gintautas / TAKINAS Deividas	LTU			3:0	3:0	3:0	3:1	8	1
2	PIETA Pawel / SZILIGA Adrian	POL	0:3			3:0	3:0	3:0	7	2
3	TIMUCIN Avni / MERCAN Hasan	TUR	0:3	0:3			3:1	2:3	5	4
4	WAN Man Ho / NG Kin Sing	HKG	0:3	0:3	1:3			0:3	4	5
5	FRID ROSENHEID Sebastian / THALIN Patrik	SWE	1:3	0:3	3:2	3:0			6	3

GROUP E				1	2	3	4	POINTS	RANKING
1	LEE Changjoon / OH Eonseok	KOR			2:3	3:0	3:0	5	2
2	WANG Yi-Hsiang / CHU Che-Wei	TPE	3:2			3:0	3:0	6	1
3	FONARIN Gennadiy / ORIFOV Dilmurod	UZB	0:3	0:3			3:0	4	3
4	ISTVANFI Ivan / VIDAKOVIC Josip	CRO	0:3	0:3	0:3			3	4

GROUP F				1	2	3	4	POINTS	RANKING
1	WEN Chih-Hsuan / YANG Jung-Tsung	TPE			3:1	3:0	3:0	6	1
2	ZIZIUNAS Kestutis / NARKEVICIUS Viktoras	LTU	1:3			3:0	3:1	5	2
3	AL MAHAQERI Ahmed / AL-ZUBAIR Esmail	YEM	0:3	0:3			0:3	3	4
4	HASAN Halit Mehmed / NEDEV Ivan Dimitrov	BUL	0:3	1:3	3:0			4	3

GROUP G				1	2	3	4	POINTS	RANKING
1	PISHCHUK Dmitry / BEZDENEZHNYI Sergey	RUS			0:3	3:0	3:1	5	2
2	BARON Jan Erik / SCHOELZEL Sebastian	GER	3:0			3:0	3:0	6	1
3	BENCSEK Gergely / FULOP Jenő Zoltan	HUN	0:3	0:3			0:3	3	4
4	KRAMER Christopher / STURMER Erwin	AUT	1:3	0:3	3:0			4	3

GROUP H				1	2	3	4	POINTS	RANKING
1	MECHAU Mark / BAEHR Thomas	GER			3:1	3:0	3:0	6	1
2	RUTOWSKI Marek / KOPIEC Ireneusz	POL	1:3			3:0	1:3	4	3
3	ALIN Yerlan / DANIYAROV Serik	KAZ	0:3	0:3			1:3	3	4
4	CHULKOV Vitaly / ROGALSKIY Alexander	RUS	0:3	3:1	3:1			5	2

## 22-ND SUMMER DEAFLYMPICS, SOFIA, BULGARIA

### MEN SINGLES KNOCK OUT SYSTEM

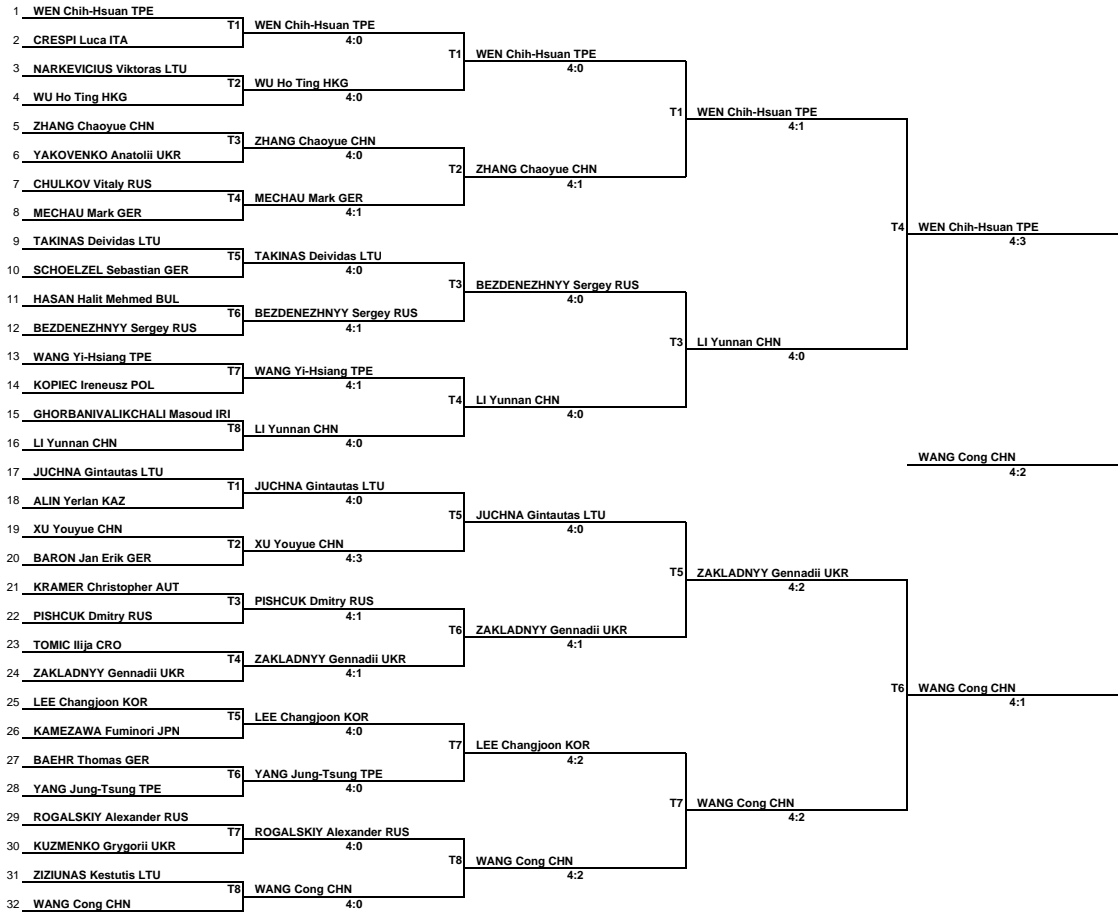
2 AUG 12:40/13:20

2 AUG 15:40

2 AUG 17:00

2 AUG 18:20

2 AUG 19:40



#### FINAL STANDING

- 1 WANG Cong CHN
- 2 WEN Chih-Hsuan TPE
- 3 ZAKLADNYI Gennadii UKR
- 4 LI Yunnan CHN
- 5-8 ZHANG Chaoyue CHN  
BEZDENEZHNYI Sergey RUS  
JUCHNA Gintautas LTU  
LEE Changjoon KOR
- 9-16 WU Ho Ting HKG  
MECHAU Mark GER  
TAKINAS Deividas LTU  
WANG Yi-Hsiang TPE  
XU Youyue CHN  
PISHCUK Dmitry RUS  
YANG Jung-Tsung TPE  
ROGALSKIY Alexander RUS
- 17-32 CRESPI Luca ITA  
NARKEVICIUS Viktoras LTU  
YAKOVENKO Anatolii UKR  
CHULKOV Vitaly RUS  
SCHOELZEL Sebastian GER  
HASAN Halit Mehmed BUL  
KOPIEC Ireneusz POL  
GHORBANIVALIKCHALI Masoud IRI  
ALIN Yerlan KAZ  
BARON Jan Erik GER  
KRAMER Christopher AUT  
TOMIC Ilija CRO  
KAMEZAWA Fuminori JPN  
BAEHR Thomas GER  
KUZMENKO Grygorii UKR  
ZIZIUNAS Kestutis LTU

Li Yunnan CHN
ZAKLADNYI Gennadii UKR 4:3
ZAKLADNYI Gennadii UKR

THIRD AND FOURTH PLACE

## 22-ND SUMMER DEAFLYMPICS MEN SINGLES GROUPS

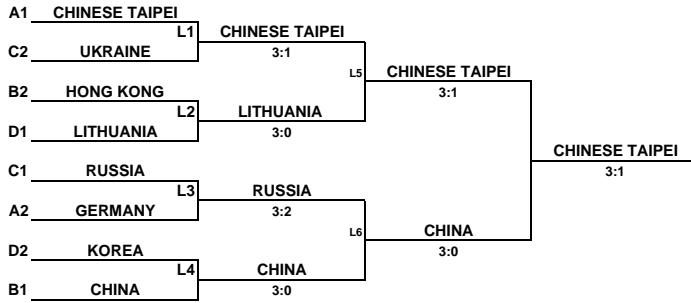
GROUP A			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	WEN Chih-Hsuan	TPE		3:0	3:0	3:0	3:0	8	1
2	AL-ZUBAIR Esmail	YEM	0:3		1:3	3:1	3:1	6	3
3	HASAN Halit Mehmed	BUL	0:3	3:1		3:0	3:1	7	2
4	WING Philip	FIJ	0:3	1:3	0:3		0:3	4	5
5	NG Kin Sing	HKG	0:3	1:3	1:3	3:0		5	4
GROUP B			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	WANG Cong	CHN		3:0	3:1	3:0	3:0	8	1
2	NG Wai Yip	HKG	0:3		0:3	3:0	3:0	6	3
3	GHRBANIVALIKCHALI Masoud	IRI	1:3	3:0		3:0	3:0	7	2
4	ERDAL Dogan	TUR	0:3	0:3	0:3		3:0	5	4
5	MAKAI Akos Emil	HUN	0:3	0:3	0:3	0:3		4	5
GROUP C			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	LI Yunnan	CHN		3:0	3:1	3:0	3:0	8	1
2	MERCAN Hasan	TUR	0:3		2:3	0:3	3:0	5	4
3	ISKENDIROV Daniyar	KAZ	1:3	3:2		2:3	3:0	6	3
4	YAKOVENKO Anatolii	UKR	0:3	3:0	3:2		3:0	7	2
5	NAIK Ullas	IND	0:3	wo	0:3	0:3		3	5
GROUP D			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	JUCHNA Gintautas	LTU		3:0	3:0	3:1	3:0	8	1
2	ARIMA Yoshio	JPN	0:3		3:0	0:3	3:0	6	3
3	OH Eonseok	KOR	0:3	0:3		0:3	3:1	5	4
4	XU Youyue	CHN	1:3	3:0	3:0		3:0	7	2
5	SENGUPTA Suvro	IND	0:3	wo	1:3	0:3		3	5
GROUP E			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	ZAKLADNYY Gennadii	UKR		3:0	3:0	3:0	3:0	8	1
2	BEK Mladen	CRO	0:3		3:0	3:0	0:3	6	3
3	DANIYAROV Serik	KAZ	0:3	0:3		0:3	0:3	4	5
4	STURMER Erwin	AUT	0:3	0:3	3:0		0:3	5	4
5	KAMEZAWA Fuminori	JPN	0:3	3:0	3:0	3:0		7	2
GROUP F			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	LEE Changjoon	KOR		3:0	3:0	3:0	3:0	8	1
2	TOMIC Ilija	CRO	0:3		3:0	3:0	3:0	7	2
3	MAFANYA Yandani	RSA	0:3	0:3		1:3	3:0	5	4
4	KRAMER Lukas	AUT	0:3	0:3	3:1		3:0	6	3
5	ABGHO Reyad	LBA	wo	0:3	WO	WO			disqualified
GROUP G			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	TAKINAS Deividas	LTU		3:1	3:0	3:0	3:0	8	1
2	RUTOWSKI Marek	POL	1:3		1:3	3:0	3:0	6	3
3	CHULKOV Vitaly	RUS	0:3	3:1		3:0	3:0	7	2
4	AL MAHAQERI Ahmed	YEM	0:3	0:3	0:3		3:0	5	4
5	ABUGHRIS Esam	LBA	0:3	0:3	0:3	0:3		4	5
GROUP H			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	MECHAU Mark	GER		3:0	3:1	3:0	3:0	8	1
2	PIETA Pawel	POL	0:3		1:3	1:3	3:0	5	4
3	KUZMENKO Grygorii	UKR	1:3	3:1		3:1	3:0	7	2
4	KONKUBAYEV Kanat	KAZ	0:3	3:1	1:3		3:0	6	3
5	AZZABI Salaheddine	LBA	0:3	0:3	0:3	0:3		4	5
GROUP I			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	YANG Jung-Tsung	TPE		3:0	3:0	3:0	3:0	8	1
2	NARKEVICIUS Viktoras	LTU	0:3		3:2	3:0	3:0	7	2
3	ATEL Waleed	YEM	0:3	2:3		3:0	3:0	6	3
4	AALIEV Mirbek	KGZ	0:3	0:3	0:3		3:0	5	4
5	KAAKUL Mohamed	LBA	0:3	3:0	0:3	0:3		4	5
GROUP J			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	BARON Jan Erik	GER		3:0	3:0	3:0	3:0	8	1
2	DAL FABBRO Oscar	ITA	0:3		3:2	2:3	3:0	6	3
3	BENCSEK Gergely	HUN	0:3	2:3		0:3	3:0	5	4
4	ALIN Yerlan	KAZ	0:3	3:2	3:0		3:0	7	2
5	BATSUURI Tuvshinjargal	MGL	3:0	wo	0:3	0:3		3	5

GROUP K									
			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	BEZDENEZHNYI Sergey	RUS		3:1	3:0	3:0	3:0	8	1
2	CRESPI Luca	ITA	1:3		3:0	3:0	3:0	7	2
3	FONARIN Gennadiy	UZB	0:3	0:3		3:0	3:0	6	3
4	VIDAKOVIC Josip	CRO	0:3	0:3	0:3		3:0	5	4
5	LKHAGVAJAV Dashdende	MGL	wo	0:3	0:3	0:3		3	5
GROUP L									
			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	SCHOELZEL Sebastian	GER		0:3	3:0	3:0	3:0	7	2
2	KRAMER Christopher	AUT	3:0		3:0	3:0	3:0	8	1
3	NEDEV Ivan	BUL	0:3	0:3		3:2	0:3	5	4
4	ISTVANFI Ivan	CRO	0:3	0:3	2:3		2:3	4	5
5	ADENIRAN Ismaila Saka	NGR	0:3	0:3	3:0	3:2		6	3
GROUP M									
			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	WANG Yi-Hsiang	TPE		3:0	3:0	3:0	3:0	8	1
2	ZIZIUNAS Kestutis	LTU	0:3		3:0	3:0	3:0	7	2
3	TIMUCIN Avni	TUR	0:3	0:3		3:1	3:0	6	3
4	ORIFOV Dilmurod	UZB	0:3	0:3	1:3		3:0	5	4
5	AWOSANYA Babatunde	NGR	0:3	0:3	0:3	0:3		4	5
GROUP N									
			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	ZHANG Chaoyue	CHN		3:0	3:0	3:0	3:0	8	1
2	PISHCHUK Dmitry	RUS	0:3		3:0	3:1	3:1	7	2
3	FUROP Jenő Zoltan	HUN	0:3	0:3		1:3	1:3	4	5
4	VELIEV Anton	UKR	0:3	1:3	3:1		3:0	6	3
5	ODUPITAN Adetayo	NGR	0:3	1:3	3:1	0:3		5	4
GROUP O									
			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	MOCHIZUKI Shota	JPN		2:3	3:2	3:0	1:3	6	3
2	KOPIEC Ireneusz	POL	3:2		3:0	3:0	0:3	7	2
3	ERDOGAN Saffet	TUR	2:3	0:3		3:0	0:3	5	4
4	WAN Man Ho	HKG	0:3	0:3	0:3		0:3	4	5
5	ROGALSKIY Alexander Viktorovich	RUS	3:1	3:0	3:0	3:0		8	1
GROUP P									
			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	BAEHR Thomas	GER		2:3	3:0	3:2	3:2	7	2
2	WU Ho Ting	HKG	3:2		3:0	3:2	3:1	8	1
3	SZELIGA Adrian	POL	0:3	0:3		0:3	2:3	4	5
4	CHU Che-Wei	TPE	2:3	2:3	3:0		3:1	6	3
5	FRID ROSENHED Sebastian Henrik	SWE	2:3	1:3	3:2	1:3		5	4

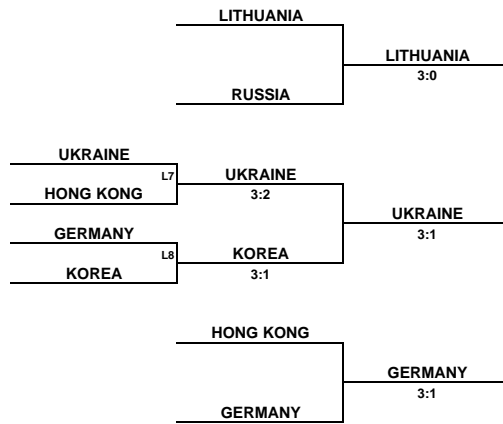
22-nd DEAFLYMPICS, SOFIA 2013  
 FIANAL STAGE, ORDER OF PLAY

MEN TEAMS FINAL STANDING

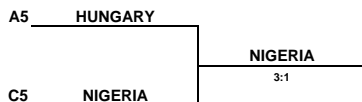
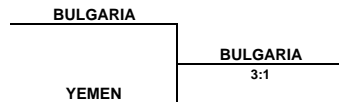
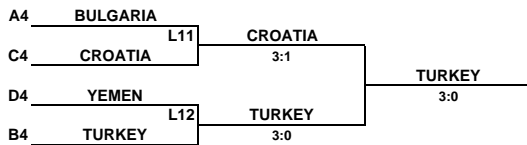
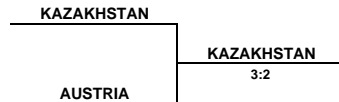
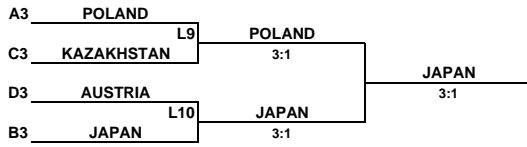
**MEN**



- 1 CHINESE TAIPEI
- 2 CHINA
- 3 LITHUANIA
- 4 RUSSIA
- 5 UKRAINE
- 6 KOREA
- 7 GERMANY
- 8 HONG KONG
- 9 JAPAN
- 10 POLAND
- 11 KAZAKHSTAN
- 12 AUSTRIA
- 13 TURKEY
- 14 CROATIA
- 15 BULGARIA
- 16 YEMEN
- 17 NIGERIA
- 18 HUNGARY



THIRD, FOURTH AND FIFTH PLACES PLAY AS FOLLOWS



## 22-nd DEAFLYMPICS, SOFIA 2013

### MEN TEAMS COMPETITION

#### GROUP A

	TEAM	1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	CHINESE TAIPEI		3:0	3:0	3:0	3:0	8	1
2	GERMANY	0:3		3:0	3:0	3:0	7	2
3	POLAND	0:3	0:3		3:0	3:2	6	3
4	HUNGARY	0:3	0:3	0:3		1:3	4	5
5	BULGARIA	0:3	0:3	2:3	3:1		5	4

#### GROUP B

	TEAM	1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	CHINA		3:0	3:0	3:0	3:0	8	1
2	JAPAN	0:3		2:3	3:0	3:0	6	3
3	HONG KONG	0:3	3:2		3:0	3:0	7	2
4	TURKEY	0:3	0:3	0:3		3:0	5	4
5	GREECE	0:3	0:3	0:3	0:3		0	

#### GROUP C

	TEAM	1	2	3	4	5	POINTS	RANKING
1	UKRAINE		2:3	3:0	3:0	3:0	7	2
2	RUSSIA	3:2		3:1	3:1	3:0	8	1
3	CROATIA	0:3	0:3		2:3	3:0	5	4
4	KAZAKHSTAN	0:3	1:3	3:2		3:0	6	3
5	NIGERIA	0:3	0:3	0:3	0:3		4	5

#### GROUP D

	TEAM	1	2	3	4	POINTS	RANKING
1	LITHUANIA		3:1	3:0	3:0	6	1
2	KOREA	1:3		3:1	3:1	5	2
3	AUSTRIA	0:3	1:3		3:1	4	3
4	YEMEN	0:3	1:3	1:3		3	4

# 22-ND SUMMER DEAFLYMPICS, SOFIA, BULGARIA

## WOMEN DOUBLES KNOCK OUT SYSTEM

**16:00**

**17:20**

**18:40**

A1 <u>SHI Ce/HUANG Mengping CHN</u>	T1	SHI Ce/HUANG Mengping CHN		
C2 <u>KONDRATOVA Anna/SHAGIEVA Elena RUS</u>			T1	
B2 <u>LIN Huan/MAO Shangbin CHN</u>				SHI Ce/HUANG Mengping CHN 4:1
D1 <u>LEE Jiyeun/MO Yunja KOR</u>	T3	LEE Jiyeun/MO Yunja KOR		
		4:0		
C1 <u>UEDA Moe/SATO Riho JPN</u>				SHI Ce/HUANG Mengping CHN 4:0
A2 <u>HEIN Annette/NESTLER Anke GER</u>	T6	UEDA Moe/SATO Riho JPN		
		4:0		
D2 <u>KHODKO Yulia/VASYLIEVA Mariia UKR</u>			T6	UEDA Moe/SATO Riho JPN 4:0
B1 <u>STARIKOVA Larysa/SIMYRYAKINA Karyna UKR</u>	T8	KHODKO Yulia/VASYLIEVA Mariia UKR		
		4:2		

### FINAL STANDING

- 1 SHI Ce/HUANG Mengping CHN
- 2 UEDA Moe/SATO Riho JPN
- 3 KHODKO Yulia/VASYLIEVA Mariia UKR
- 4 LEE Jiyeun/MO Yunja KOR
- 5 - 8 KONDRATOVA Anna/SHAGIEVA Elena RUS
- LIN Huan/MAO Shangbin CHN
- HEIN Annette/NESTLER Anke GER
- STARIKOVA Larysa/SIMYRYAKINA Karyna UKR

LEE Jiyeun/MO Yunja KOR
KHODKO Yulia/VASYLIEVA Mariia UKR
4:2
KHODKO Yulia/VASYLIEVA Mariia UKR

## 22-ND SUMMER DEAFLYMPICS

### WOMEN DOUBLE GROUPS

GROUP A			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING	
1	SHI Ce / HUANG Mengping	CHN		3:0	3:0	3:0	3:0	8	1	
2	REIDER Ilona / SZECSEI Krisztina	HUN	0:3		2:3	3:0	2:3	5	3	
3	HEIN Annette / NESTLER Anke	GER	0:3	3:2		3:0	3:0	7	2	
4	BACAK Ayse / YAMANEL Yurdagul	TUR	0:3	0:3	0:3		3:0	5	4	
5	CHEUNG Yin Tak / WONG Hiu Ching	HKG	DISQUALIFIED							
GROUP B			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING	
1	LIN Huan / MAO Shangbin	CHN		1:3	3:0	3:0	3:0	7	2	
2	STARIKOVA Larysa / SIMYRYAKINA Karyna	UKR	3:1		3:0	3:0	3:0	8	1	
3	AKYUZ Dilem / AKYAZ Meltem	TUR	0:3	0:3		0:3	0:3	4	5	
4	MARIC Stana / HRIBAR Anamarija	CRO	0:3	0:3	3:0		0:3	5	4	
5	GHOSH Suravi / KUNDU Soma	IND	0:3	0:3	3:0	3:0		6	3	
GROUP C			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING	
1	UEDA Moe / SATO Riho	JPN		3:0	3:0	3:0	3:0	8	1	
2	KONDRATOVA Anna / SHAGIEVA Elena	RUS	0:3		3:0	3:0	3:0	7	2	
3	MOLL Annalena / DIEDERICH Ann-Kathrin	GER	0:3	0:3		3:0	3:0	6	3	
4	GOROKHOVA Natalya / SHVYRKOVA Karina	KAZ	DISQUALIFIED							
5	BASNET Sangita / THAPA SHRESTHA Sonam	NEP	DISQUALIFIED							
GROUP D			1	2	3	4	5	6	POINTS	RANKING
1	KHODKO Yulia / VASYLIEVA Mariia	UKR		1:3	3:0	3:0	3:0	3:0	9	2
2	LEE Jiyeun / MO Yunja	KOR	3:1		3:0	3:0	3:0	3:0	10	1
3	ARIMA Chizuko / KAWASAKI Mizue	JPN	0:3	0:3		3:0	3:0	3:0	8	3
4	KAMALOVA Madina / ADILOVA Kulzhamila	KAZ	0:3	0:3	0:3		3:0	WO	5	5
5	TOKOSI Muhirat / JIMOH Idayat Oluwanishola	NGR	0:3	0:3	0:3	1:3		1:3	5	6
6	SUNDUKOVA Olga / MARKOVICH Ksenia	RUS	0:3	0:3	0:3	3:0	3:1		7	4



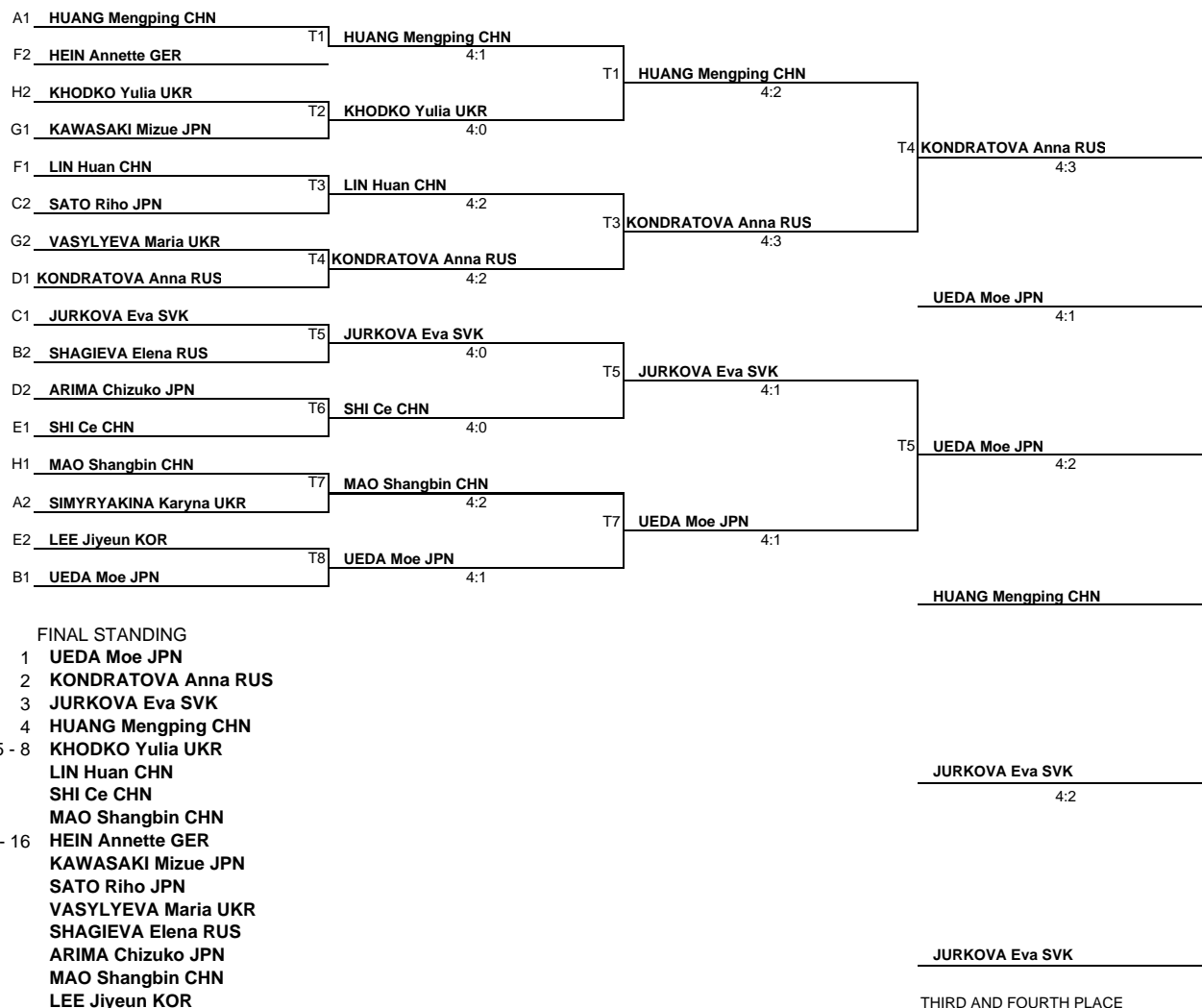
**22-ND SUMMER DEAFLYMPICS, SOFIA, BULGARIA**  
**WOMEN SINGLES KNOCK OUT SYSTEM**

**15:00**

**16:20**

**17:40**

**19:00**



## 22-ND SUMMER DEAFLYMPICS

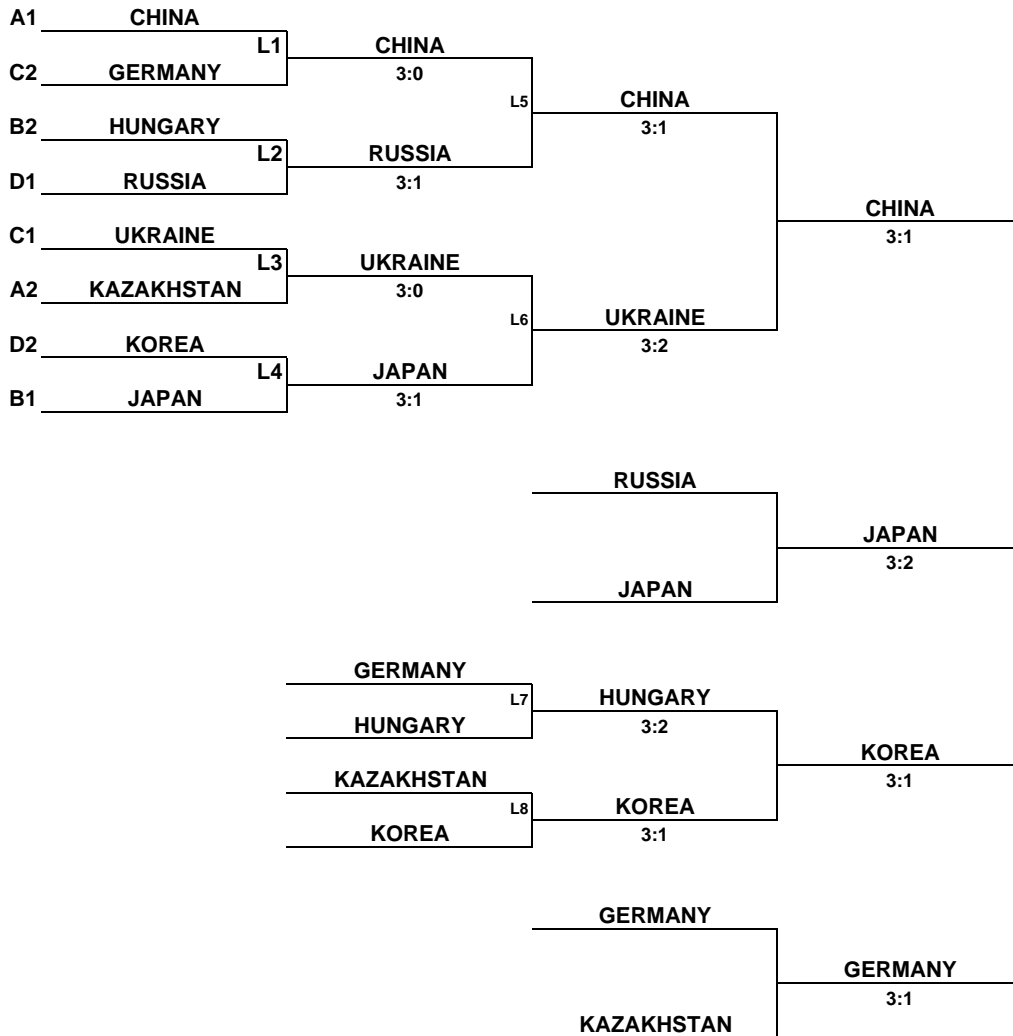
### WOMEN SINGLES GROUPS

GROUP A		1	2	3	4	5	6	7	POINTS	RANKING	
1	HUANG Mengping	CHN		3:1	3:0	3:0	3:0	3:0	3:0	12	1
2	SIMRYAKINA Karyna	UKR	1:3		3:0	3:0	3:0	3:0	3:0	11	2
3	ZYLA Iwona Ewa	POL	0:3	0:3		3:2	3:0	1:3	3:1	9	4
4	MARIC Stana	CRO	0:3	0:3	2:3		3:0	0:3	3:2	8	5
5	BALE Vivienne	FIJ	0:3	0:3	0:3	0:3		0:3	0:3	6	7
6	MARKOVICH Ksenia Andreyevna	RUS	0:3	0:3	3:1	3:0	3:0		3:1	10	3
7	BACAK Ayse	TUR	0:3	0:3	1:3	2:3	3:0	1:3		7	6
GROUP B		1	2	3	4	5	6	POINTS	RANKING		
1	UEDA Moe	JPN		3:0	3:0	3:0	3:0	10	1		
2	SHAGIEVA Elena	RUS	0:3		3:0	3:0	3:0	9	2		
3	SZECSI Krisztina	HUN	0:3	0:3		3:0	3:1	8	3		
4	ZAHARIEVA Aneta Ivova	BUL	0:3	0:3	0:3		0:3	6	5		
5	HRIBAR Anamarija	CRO	0:3	0:3	1:3	3:0		7	4		
6	MONCHUSI Mmapuso	RSA	0:3	0:3	0:3	0:3	0:3	5	6		
GROUP C		1	2	3	4	5	6	POINTS	RANKING		
1	SATO Riho	JPN		3:0	0:3	3:0	3:0	9	2		
2	REIDER Ilona	HUN	0:3		0:3	3:0	3:2	7	5		
3	JURKOVA Eva	SVK	3:0	3:0		3:0	3:0	10	1		
4	BALDER Paola	CRO	0:3	0:3	0:3		0:3	5	6		
5	MOLL Annalena	GER	0:3	2:3	0:3	3:0		7	4		
6	SUNDUKOVA Olga Alexandrovna	RUS	0:3	3:0	0:3	3:0	1:3	7	3		
GROUP D		1	2	3	4	5	6	POINTS	RANKING		
1	KONDRATOVA Anna	RUS		3:0	3:0	3:0	3:1	10	1		
2	STARYKOVA Larysa	UKR	0:3		3:0	3:1	wo	7	3		
3	ARIMA Chizuko	JPN	0:3	0:3		3:1	3:0	8	2		
4	30299 RATZ Bettina	AUT	0:3	1:3	1:3		3:0	7	4		
5	CHEUNG Yin Tak	HKG	1:3	3:0	0:3	0:3		6	6		
6	TOKOSI Munirat	NGR	0:3	0:3	0:3	0:3	3:2	6	5		
GROUP E		1	2	3	4	5	6	POINTS	RANKING		
1	SHI Ce	CHN		3:0	3:0	3:0	3:0	10	1		
2	HEIN Annette	GER	0:3		3:1	3:0	3:0	9	2		
3	AKYUZ Dilem	TUR	0:3	1:3		3:1	3:0	8	3		
4	KAMALOVA Madina	KAZ	0:3	0:3	1:3		3:0	7	4		
5	WONG Hiu Ching	HKG					0:3		disqualified		
6	JIMOH Idayat Oluwanishola	NGR	0:3	0:3	0:3	1:3	3:0	6	5		
GROUP F		1	2	3	4	5	6	POINTS	RANKING		
1	LIN Huan	CHN		3:1	3:0	3:0	3:0	10	1		
2	LEE Jiyeun	KOR	1:3		3:0	3:0	3:0	9	2		
3	DIEDERICH Ann-Kathrin	GER	0:3	0:3		3:0	0:3	7	4		
4	YAMANEL Yurdagul	TUR	0:3	0:3	0:3		1:3	6	5		
5	TUROCZY Erika	HUN	0:3	0:3	3:0	3:1		8	3		
6	ANIMASHAUN Ganiyat	NGR	0:3	0:3	0:3	1:3	0:3	5	6		
GROUP G		1	2	3	4	5	6	POINTS	RANKING		
11200	VASYLYEVA Maria	UKR		3:0	3:0	3:0	3:0	wo	8	2	
19060	NESTLER Anke	GER	0:3		3:0	3:1	3:0	2:3	8	3	
22267	ADILOVA Kulzhamila	KAZ	0:3	0:3		1:3	0:3	5	6		
23211	AKYAZ Meltem	TUR	0:3	1:3	3:1		1:3	6	5		
32363	GHOSH Suravi	IND	0:3	wo	3:0	3:1		2:3	6	4	
30570	KAWASAKI Mizue	JPN	3:0	3:2	3:0	3:0	3:2	10	1		
GROUP H		1	2	3	4	5	6	POINTS	RANKING		
22998	MAO Shangbin	CHN		3:0	3:0	3:0	3:0	10	1		
2322	KHODKO Yulia	UKR	0:3		3:0	3:0	3:0	9	2		
20077	MO Yunja	KOR	0:3	0:3		3:0	3:1	8	3		
21601	GOROKHOVA Natalya	KAZ	0:3	0:3	0:3		1:3	5	6		
17346	KUNDU Soma	IND	0:3	0:3	0:3	3:1		wo	5	5	
30273	PODDA Anna	ITA	0:3	0:3	1:3	3:0	3:0	7	4		

22-nd DEAFLYMPICS, SOFIA 2013

FIANAL STAGE, ORDER OF PLAY

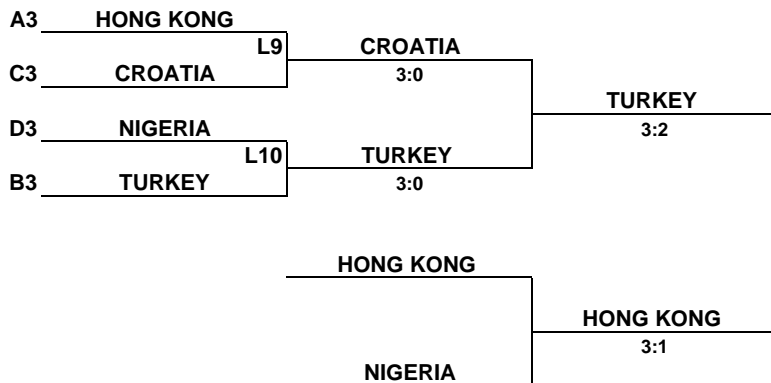
**WOMEN**



**FINAL STANDING**

- 1 CHINA
- 2 UKRAINE
- 3 JAPAN
- 4 RUSSIA
- 5 KOREA
- 6 HUNGARY
- 7 GERMANY
- 8 KAZAKHSTAN
- 9 TURKEY
- 10 CROATIA
- 11 HONG KONG
- 12 NIGERIA

**THIRD, FOURTH AND FIFTH PLACES PLAY AS FOLLOWS**



## 22-nd DEAFLYMPICS, SOFIA 2013

### WOMEN TEAMS COMPETITION

#### GROUP A

	TEAM	1	2	3	POINTS	RANKING
1	CHINA		3:0	3:0	4	1
2	HONG KONG	0:3		1:3	2	3
3	KAZAKHSTAN	0:3	3:1		3	2

#### GROUP B

	TEAM	1	2	3	POINTS	RANKING
1	JAPAN		3:0	3:0	4	1
2	HUNGARY	0:3		3:0	3	2
3	TURKEY	0:3	0:3		2	3

#### GROUP C

	TEAM	1	2	3	POINTS	RANKING
1	UKRAINE		3:0	3:0	4	1
2	GERMANY	0:3		3:0	3	2
3	CROATIA	0:3	0:3		2	3

#### GROUP D

	TEAM	1	2	3	POINTS	RANKING
1	RUSSIA		3:1	3:0	4	1
2	KOREA	1:3		3:1	3	2
3	NIGERIA	0:3	1:3		2	3

## 22-ND SUMMER DEAFLYMPICS, SOFIA, BULGARIA

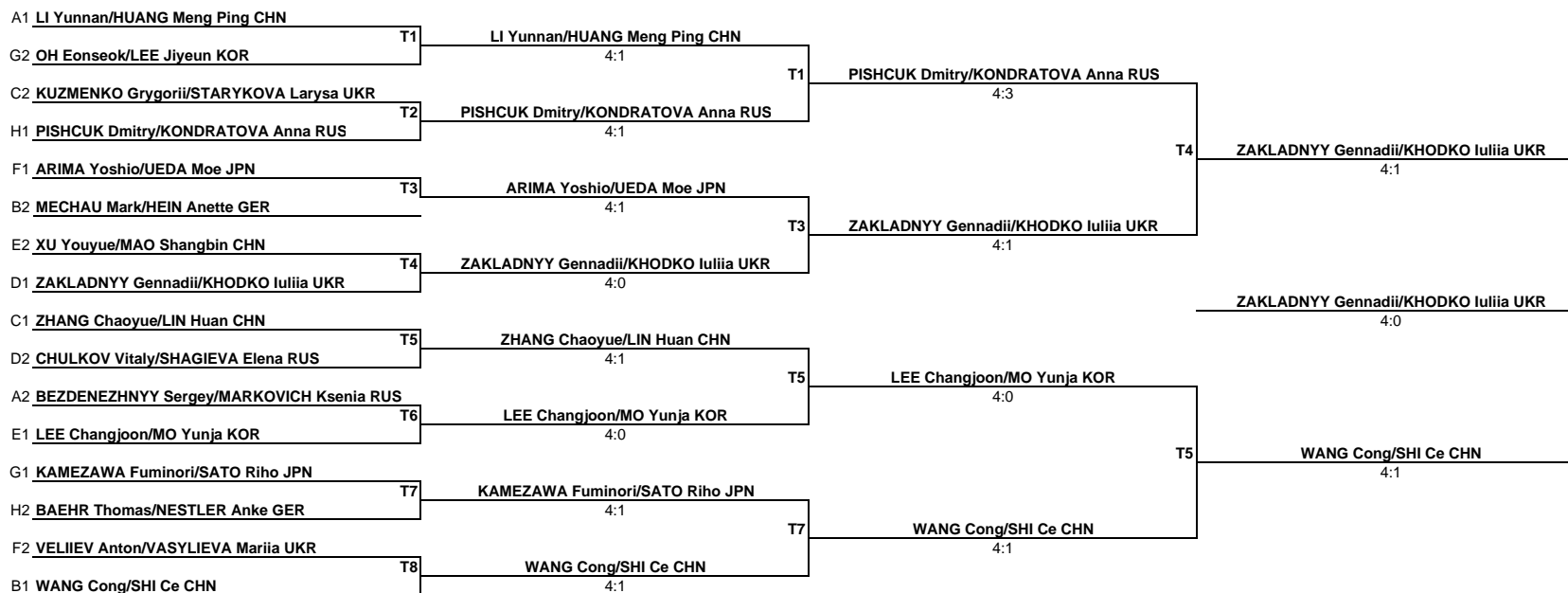
### MIXED DOUBLES KNOCK OUT SYSTEM

16, 00

16, 40

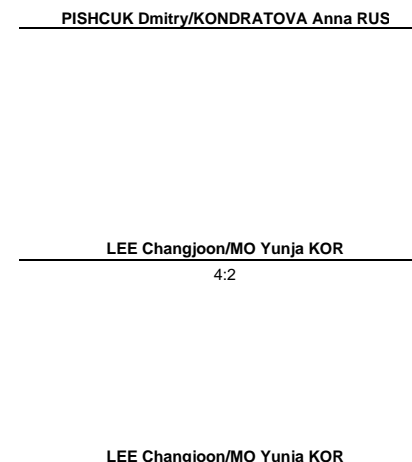
17, 20

18,20



#### FINAL STANDING

- 1 WANG Cong/SHI Ce CHN
- 2 ZAKLADNYY Gennadii/KHODKO Iuliia UKR
- 3 LEE Changjoon/MO Yunja KOR
- 4 PISHCUK Dmitry/KONDRATOVA Anna RUS
- 5 - 8 LI Yunnan/HUANG Meng Ping CHN  
ARIMA Yoshio/UEDA Moe JPN  
ZHANG Chaoyue/LIN Huan CHN  
KAMEZAWA Fuminori/SATO Riho JPN
- 9 - 16 OH Eonseok/LEE Jiyeun KOR  
KUZMENKO Grygorii/STARYKOVA Larysa UKR  
MECHAU Mark/HEIN Anette GER  
XU Youyue/MAO Shangbin CHN  
CHULKOV Vitaly/SHAGIEVA Elena RUS  
BEZDENEZHNYI Sergey/MARKOVICH Ksenia RUS  
BAEHR Thomas/NESTLER Anke GER  
VELLIEV Anton/VASYLIEVA Mariia UKR



## 22-ND SUMMER DEAFLYMPICS, SOFIA, BULGARIA

### MIXED DOUBLE GROUPS

GROUP A			1	2	3	4	5	POINTS	RANKING	
1	LI Yunnan / HUANG Meng Ping	CHN		3:0	3:0	3:0	3:0	8	1	
2	KOPIEC Ireneusz / ZYLA Iwona Ewa	POL	0:3		1:3	1:3	1:3	4	5	
3	BEZDENEZHNYI Sergey / MARKOVICH Ksenia	RUS	0:3	3:1		3:0	3:2	7	2	
4	ISKENDIROV Daniyar / KAMALOVA Madina	KAZ	0:3	3:1	0:3		1:3	5	4	
5	KRAMER Christopher / RATZ Bettina	AUT	0:3	3:1	2:3	3:1		6	3	
GROUP B			1	2	3	4	5	6	POINTS	RANKING
1	WANG Cong / SHI Ce	CHN		3:1	3:0	3:0	3:0	3:0	10	1
2	MECHAU Mark / HEIN Anette	GER	1:3		3:0	3:0	3:0	3:0	9	2
3	ERDOGAN Saffet / AKYUZ Dilem	TUR	0:3	0:3		2:3	3:2	1:3	6	5
4	BENCSEK Gergely / SZECSEI Krisztina	HUN	0:3	0:3	3:2		3:1	1:3	7	4
5	NEDEV Ivan Dimitrov / ZAHARIEVA Aneta Ivova	BUL	0:3	0:3	2:3	1:3		2:3	5	6
6	NG WAI YIP / WONG HIU CHING	HKG	0:3	0:3	3:1	3:1	3:2		8	3
GROUP C			1	2	3	4	5	6	POINTS	RANKING
1	ZHANG Chaoyue / LIN Huan	CHN		3:0	3:1	3:0	3:0	3:0	10	1
2	BARON Jan Erik / DIEDERICH Ann-Kathrin	GER	0:3		2:3	3:0	3:0	3:0	8	3
3	KUZMENKO Grygorii / STARYKOVA Larysa	UKR	1:3	3:2		3:0	3:0	3:0	9	2
4	DANIYAROV Serik / SHVYRKOVA Karina	KAZ	WO	WO	WO		WO	WO	0	
5	ISTVANFI Ivan / BALDER Paola	CRO	0:3	0:3	0:3	3:0		0:3	6	5
6	ERDAL Dogan / BACAK Ayse	TUR	0:3	0:3	0:3	3:0	3:0		7	4
GROUP D			1	2	3	4	5	6	POINTS	RANKING
1	ZAKLADNYI Gennadii / KHODKO Iuliia	UKR		3:0	3:0	3:0	3:0	3:0	10	1
2	CHULKOV Vitaly / SHAGIEVA Elena	RUS	0:3		3:0	3:2	3:1	3:0	9	2
3	SCHOELZEL Sebastian / MOLL Annalena	GER	0:3	0:3		2:3	3:0	3:0	7	3
4	FULOP Jenő / REIDER Ilona	HUN	0:3	2:3	3:2		1:3	3:0	7	4
5	NAIK Ullas / KUNDU Soma	IND	0:3	1:3	0:3	3:1		3:0	7	5
6	MAFANYA Yandani / MONCHUSI Mmapuso	RSA	0:3	0:3	0:3	0:3	0:3		5	6
GROUP E			1	2	3	4	5	6	POINTS	RANKING
1	LEE Changjoon / MO Yunja	KOR		3:1	3:0	3:0	3:0	3:0	10	1
2	XU Youyue / MAO Shangbin	CHN	1:3		3:0	3:2	3:0	3:0	9	2
3	KONKUBAYEV Kanat / GOROKHOVA Natalya	KAZ	0:3	0:3		0:3	3:0	0:3	6	5
4	YAKOVENKO Anatolii / SIMYRYAKINA Karyna	UKR	0:3	2:3	3:0		3:0	3:0	8	3
5	MAKAI Akos Emil / TUROCZY Erika	HUN	0:3	0:3	0:3	0:3		0:3	5	6
6	ROGALSKIY Alexander / SUNDUKOVA Olga	RUS	0:3	0:3	3:0	0:3	3:0		7	4
GROUP F			1	2	3	4	5	6	POINTS	RANKING
1	VELIIEV Anton / VASYLIEVA Mariia	UKR		2:3	3:0	3:0	3:0	3:0	9	2
2	ARIMA Yoshio / UEDA Moe	JPN	3:2		3:0	3:0	3:0	3:0	10	1
3	TOMIC Ilija / HRIBAR Anamarija	CRO	0:3	0:3		3:1	3:0	3:1	8	3
4	TIMUCIN Avni / AKYAZ Meltem	TUR	0:3	0:3	1:3		2:3	2:3	5	6
5	SENGUPTA Suvro / GHOSH Suravi	IND	0:3	0:3	0:3	3:2		2:3	6	5
6	ODUPITAN Adetayo / JIMOH Idayat	NGR	0:3	0:3	1:3	3:2	3:2		7	4
GROUP G			1	2	3	4	5	6	POINTS	RANKING
1	OH Eonseok / LEE Jiyeun	KOR		2:3	3:1	3:0	3:1	3:0	9	2
2	KAMEZAWA Fuminori / SATO Riho	JPN	3:2		3:0	3:0	3:0	3:0	10	1
3	BEK Miladen / MARIC Stana	CRO	1:3	0:3		2:3	0:3	3:0	6	5
4	ALIN Yerlan / ADILOVA Kulzhamila	KAZ	0:3	0:3	3:2		0:3	3:0	7	4
5	CRESPI Luca / PODDA Anna	ITA	1:3	0:3	3:0	3:0		3:0	8	3
6	AWOSANYA Babatumde / ANIMASHAUN Ganiyat Ajoke	NGR	0:3	0:3	0:3	0:3	0:3		5	6
GROUP H			1	2	3	4	5	6	POINTS	RANKING
1	PISHCHUK Dmitry / KONDRATOVA Anna	RUS		3:2	3:0	3:1	3:2	3:0	10	1
2	BAEHR Thomas / NESTLER Anke	GER	2:3		3:1	3:0	3:0	3:0	9	2
3	WU Ho Ting / CHEUNG Yin Tak	HKG	0:3	1:3		1:3	3:2	3:0	7	4
4	MERCAN Hasan / YAMANEL Yurdagul	TUR	1:3	0:3	3:1		3:2	3:0	7	5
5	MOCHIZUKI Shota / KAWASAKI Mizue	JPN	2:3	0:3	3:0	2:3		3:1	7	3
6	ADENIRAN Ismaila / TOKOSI Muhirat	NGR	0:3	0:3	2:3	0:3	1:3		5	6